



上尾市

Ageo City

上尾市市制施行

60周年
記念

|2018|

上尾市勢要覽

上尾市市制施行 60周年

上尾市のプロフィール

上尾市は、埼玉県の南東部、首都東京から約35kmの距離にあります。南はさいたま市に、東は伊奈町と蓮田市に、西は川越市と川島町に、北は桶川市に隣接しています。

昭和30年1月1日、上尾町、平方町、原市町、大石村、上平村、大谷村の3町3村が合併して上尾町となり、3年後の昭和33年7月15日の市制施行で上尾市が誕生しました。

平成30年に市制施行60周年を迎え、さらなる飛躍を目指して「みんなが輝く街、上尾」の実現に向け取り組んでいます。

埼玉県



市役所の位置
東経139度35分37秒／
北緯35度58分38秒

面積45.51km²、海拔約15mの平坦な地形で起伏が少なく、武蔵野の面影が残る自然環境と快適な都市環境が調和したまちです。

目次 Contents

あげお MAP 上尾ってどんなところ？	4
みんなの笑顔が輝くまち	6
みんなが自慢したくなるまち	8
みんなが活躍するまち	10
あげおイベント歳時記	12
上尾市データファイル	14
議会・行政	16
上尾市の発展 60年の歩み	18
上尾市市制施行 60周年記念事業	19

発刊の言葉

上尾市は、昭和33年に埼玉県内19番目の市として誕生し、今年、市制施行60周年の佳節を迎えました。60年は、人間の年齢に例えると還暦となる年であり、干支が生まれる年に戻る「第2の誕生」を祝う大切な年となります。

市制施行当時は約3万7千人ほどであった人口も、22万8千人を超え、首都圏にありながら自然と調和した埼玉県の中核をなす都市へと成長しました。

市民意識調査では、「住みやすい」との回答が調査毎に増加し、魅力的なまちづくりの成果が確実に表れており、現在は、あげお版ネウボラや全国トップクラスの学校ICT環境を整備するなど全国に誇れるまちづくりを進めております。

だれもが輝き、豊かな心を持ち、それぞれの分野で活躍できるまちとなるため、未来を見据えて大空へ羽ばたく鳥のように、これからもさらなる発展を目指して、市民の皆さんと一緒に歩みを進めていきます。

この市勢要覧では、市民の皆さんが暮らす上尾市の魅力を改めて感じていただけるよう、市での暮らしをさまざまな角度から紹介しています。ぜひ、この機会に、上尾市について知り、今まで気づけなかった魅力を見つけていただければ幸いです。

平成30年11月
上尾市長 畠山 稔



キラリ☆あげおPR大使

私たちも上尾市の魅力を発信しています！

上尾市では、市にゆかりのある著名人（スポーツ・芸能・文化芸術・その他）を「キラリ☆あげおPR大使」に任命しています。現在、3人と2団体の皆さんを任命し、大使の活動の中で市の魅力を広く発信・PRしてもらっています。

埼玉上尾メディックス (女子バレーボールチーム)



上尾中央医科グループ女子バレーボールチーム。V・プレミアリーグ所属。2001年実業団バレーボール部として正式に発足。2014年に悲願のV・プレミアリーグへの昇格を果たし、2014/15シーズンはリーグ3位の好成績を収める。2018年6月にチーム名を「埼玉上尾メディックスバレーボールチーム」へと改称。(2015年10月5日任命)

Saitama Ageo Medics

加藤 順大 (大宮アルディージャ GK)



1984年12月上尾市生まれ。上尾市立大石南小3年時に西上尾イレブンファイターズに入団。大宮東高校入学と同時に浦和レッズユース加入。2003年トップチーム昇格。2006年に公式戦デビュー。2015年大宮アルディージャに移籍、積極果敢なプレーで活躍中。(2015年10月29日任命)

Nobuhiro Kato

梅若 泰志 (観世流能楽師)



1967年8月上尾市生まれ。大学在学中より謡・仕舞の稽古を始め、1989年梅若万三郎家入門。1997年に独立。東京各地で演能の他、海外公演にも多数参加している。また、能の普及に努め、上尾市他各地で謡・仕舞の指導を行っている。

(2015年10月30日任命)

Yasushi Umewaka

長尾 春花 (バイオリニスト)



1989年5月生まれ、上尾市在住。東京芸術大学、グラーツ国立音楽大学を経て2015年9月よりハンガリーのリスト音楽院に留学中。2008年ロン＝ティボー国際コンクールで5位入賞。2010年、市の名声を高めるとともに市民に夢と希望を与えたい者に対して贈られる「上尾市栄誉賞」を受賞。(2015年10月30日任命)

Haruka Nagao

フレッシュあげお (上尾商工会議所青年部)



1999年に上尾商工会議所青年部20周年記念事業として、上尾商工会議所青年部のPRや上尾の商工業の発展と上尾のイメージアップを市内外にアピールすることを目的に開始。毎年、応募者の中から3名選出し、現在第20期メンバーが、さまざまなイベントで活躍中。(2017年6月30日任命)

Fresh Ageo

あげおMAP

上尾

って どんなところか?



アップファミリープロフィール

上尾市イメージキャラクター
アップ

名前は、あげおの「ア」、向上を意味する「アップ」、幸せの「ハッピー」に由来します。いつでもどこでも元気いっぱいな性格で、特技は元気を送ること。好きなものはみんなの笑顔です。



上尾市・本宮市友好キャラクター
あゆみ

友好都市である本宮市と上尾市に安らぎを与えるため、アップとまゆみちゃんのために誕生した妖精です。アップ譲りの元気さと、まゆみちゃん譲りの優しい性格の持ち主です。

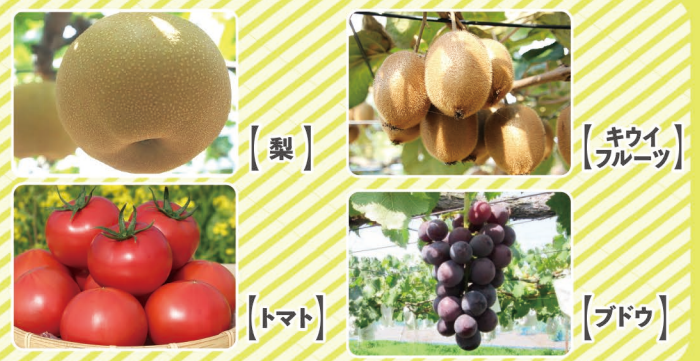


本宮市イメージキャラクター
まゆみちゃん

本宮市の木・まゆみの木の実はモチーフです。「福島のへそのまち本宮」を表す、かわいいおへそがあります。震災からの復興を願う本宮市民の思いが集まり、まゆみの木に魂が宿って誕生しました。



主な農産物



主な花



みんなの笑顔が 輝くまち

誰もが笑顔で生き生きと輝けるまち。
上尾市には、子どもから高齢者までが、
元気に暮らせる環境があります。



子育てに最適な環境

子育て世代を妊娠期から子育て期まで、切れ目なく寄り添いながら支援するため「子育て世代包括支援センター(あげお版ネウボラ)」を設置し、安心して子どもを産み育てる環境づくりに取り組んでいます。また、子どもの遊びや学びを支援する児童館がある他、四季の変化に富んだ花や小動物との触れ合いも楽しめる上尾丸山公園、アスレチックがある平塚公園、市民球場などのスポーツ設備がある上平公園など、市内各所には親子で楽しめる緑豊かな公園が多数あります。

Pick Up!

東西2カ所の児童館 「アッピーランド」「こどもの城」

市内・外から多くの人々が来館する、親子連れに人気の施設です。魅力的な遊び場や工夫を凝らした楽しいイベントが行われています。児童館こどもの城は、2013年来館者数全国1位、2017年来館者数県内1位を記録しています。

充実した学校教育環境

全ての小・中学校で、52インチの大型モニター・デジタル教科書を使用し、ICT機器を活用した学習を行っています。また、子どもたちが英語を身近に感じることができるよう、英語教育にも力を入れています。外国語指導助手(ALT)を全ての小・中学校に配置している他、小学5・6年生対象の夏休みイングリッシュキャンプを開催しています。さらに、全小学校に特別支援学級を設置しています。



Pick Up!

最先端の ICT(情報通信技術)教育

子どもたちが活発に学習に取り組むことのできる環境をつくるため、大型モニターやデジタル教科書を使い、動画や写真、アニメーションなどを活用した授業を行っています。



さまざまな世代の 笑顔が集まり、支え合う

「高齢者が輝き続けるまち あげお」の実現を目指し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その能力に応じて、自立した日常生活が送れるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。介護予防を目的としたアッピー元気体操、地域での仲間づくりや健康維持を目的としたいきいきクラブの活動を推進しており、高齢者がいつまでも笑顔で生き生きと過ごすことができます。



Pick Up!

いきいきクラブの活動

おおむね60歳以上の人が入会できます。事務区を単位に86のクラブがあり、会員は約5,200人です。さまざまなスポーツ大会や創作展示会、芸能大会、募金のボランティアなど、活動は多岐にわたり、仲間づくりや生きがいづくりができます。



interview

魅力的な 子育て環境

わたなべ まきこ
渡辺 真紀子さん・

うた
詩ちゃん(1歳)

約1年前に山梨県から上尾市に引っ越してきました。圏央道の桶川北本インターに近く、山梨県の実家に帰省するにもとても便利だと思い、上尾市に住むことにしました。

市内にはたくさんの公園があり、自宅から徒歩で行けます。子育て支援センターや12カ所ある子育て拠点のどこかを、ほぼ毎日利用しています。子どもを遊ばせられる環境が身近にあるのは、とても魅力的だと感じています。

上尾市に引っ越して来た当初は、知り合いが全くいなかったため不安もありましたが、子どもを連れて公園や施設に出掛けて、同世代の子どもを持つ人たちと情報交換できたことは、とても良かったと思います。今では、新しくできた友人たちと家族ぐるみで交流し、上尾市での生活を楽しんでいます。



みんなが自慢したくなるまち

好きなことを、思い切り
楽しみたい。

上尾市は、スポーツ・文化・
芸術がいつも身近にあり、
心豊かな暮らしができる
まちです。



interview

地域の輪を広げ、 次世代へと 伝統を繋ぐ



「平方のどろいんきょ」(写真・上)は一般的な祭り・神輿のイメージとは異なり、白木だけで作られた神輿を泥の中で勢よく転がす珍しい行事で、平方上宿地区に古くから伝わる歴史ある奇祭です。私は、物心ついたころからこの祭りに参加してきました。今は若衆頭という伝統を繋いでいく立場となり、祭り当日に向けた事前準備から当日の運営まで幅広く関わっています。地域の子どもたちには、ぜひどろいんきょに参加してもらって、その面白さを知ってもらいたいと思います。また、地区の参加者が一体となって盛り上がることで生まれる、「地域の輪」が広がっていく良さも感じてもらいたいです。市外の方や、市内にお住まいでどろいんきょを見たことがない方たちにも、ぜひ興味を持ってもらい、私たちと一緒にこの祭りを盛り上げていただければと思います。

平方のどろいんきょ 若衆頭 おおくぼ ひでのり **大久保 英紀さん**

文化・芸術で 彩りのある暮らしを

市内の合唱団や音楽団体、小学校の子どもたちが参加する市民音楽祭、街が芸術で彩られる市美術展覧会や上尾街角美術館など、毎年、秋になると文化・芸術に触れることのできるイベントが数多く開催されます。



Pick Up!

市美術展覧会

日本画・洋画・立体造形・工芸・書・写真の6部門、500点近い展覧作品の中から市長賞が決定されます。出展者それぞれの個性が展示され、訪れる人々を芸術の世界に引き込みます。



スポーツで汗を流して 楽しく健康に

市内には市民体育館、上尾運動公園、県立武道館、埼玉アイズアリーナなど、スポーツ活動の拠点となる多くの施設があります。また、約8千人が参加する上尾シティマラソン、スポーツの祭典である上尾市民体育祭などのイベントが毎年開催されています。



Pick Up!

上尾シティマラソン

上尾運動公園陸上競技場をスタート・フィニッシュとする市内折り返しコースで、3キロ・5キロ・ハーフ(日本陸上競技連盟公認)の部があります。箱根駅伝に出場する大学の選手なども参加する本格的な大会で、毎年多くの人が上尾路を駆け抜け、それぞれのペースでマラソンを楽しみます。



地域に息づく伝統を これからの世代へ

平方祇園祭のどろいんきょ行事(平方のどろいんきょ)や、藤波・畔吉に伝わるささら獅子舞など、上尾には代々人々の手で受け継がれてきた伝統芸能や魅力的な文化財が多くあり、風景や日常から歴史を感じることができます。



Pick Up!

上尾の摘田・ 畑作用具

平成28年3月2日、上尾の摘田・畑作用具(521点)が文化財としての高い価値が認められ、保存・活用のため国登録有形民俗文化財に登録されました。上尾でかつて行われていた田植えをせず、種籾を直接、田にまく栽培の稲作、「摘田」の歴史を知ることのできる大変貴重なものです。



みんなが活躍するまち



いきいき働く人々が、市内の商業・工業・農業などの産業の発展、地域の活性化を支えています。



豊かな自然の残るまちで、首都圏の利便性を生かし、農業の振興を

都市近郊にあるという立地条件を生かし、市内では、都市部の住民の需要に合った農産物の生産が行われています。また、農産物直売所やあげお朝市で、市内農家の皆さんの顔が消費者に見える対面販売を実現させ、地産地消にも取り組んでいます。また、市民が農業に親しむことができる場を提供するため、体験農園を開設する農家の支援も行っています。

Pick Up!

あげお朝市

毎月第4土曜日10時～12時30分にJR上尾駅自由通路で開催しています。野菜や季節の花、果実の他、ヨーグルト、手作りまんじゅう(4～6月だけ)を販売しています。また、5・12月には「あげお夕市」を行っています。



地元で根付いた愛される商店街

市には地元の人々に愛され、住民の皆さんの生活に密着した商店街が多くあります。市では魅力とにぎわいあふれる商店街を形成するため、商店街活動や空き店舗を活用して起業する人の支援を行っています。

Pick Up!

農商工観ポータルサイト「あげポタ」



市内の企業・店舗、製(商)品などの魅力や情報を集約・発信しています。クーポン、「あげポタ」利用者のアクセスランキング、口コミ情報などが掲載されており、知って得する情報が満載です。

時代のニーズに合わせた先進的な技術で工業の振興を

上尾市は埼玉県内でも有数の工場集積地を有しています。市では、既存の企業の生産の活性化を図るため、中小企業に対する経営相談や販路拡大支援などを行うとともに、新産業の起業・誘致も目指して、市内工業の振興を図っています。

Pick Up!

中小企業サポート事業 上尾市ものづくり企業データベース

「上尾市ものづくり企業データベース」を作成し、市内中小企業が抱える大きな課題の一つである「販路開拓や取引の拡大」と「後継者育成・人材確保」の解決をサポートしています。



interview

ものづくり技術がまちを支える

名取製作所では、主に自動車部品の生産と並行し、パラアスリート(障害者競技選手)を支えるスポーツ用義肢(義足、義手)の製作を行っています。2011年からスポーツ用義肢の製作に関する研究を開始し、これまでロンドンパラリンピックの自転車競技で銅メダルを獲得した藤田征樹さんの義足、リオパラリンピックの走り幅跳びで銀メダル、男子400メートルリレーで銅メダルを獲得した山本篤さんの義肢の接続部分のアダプターを製作してきました。最近では、2020年に開催される東京パラリンピックに向け、車いすバスケットボールやウィルチェアラグビーなどの車椅子競技の練習用機器の製作などにも挑戦しています。これからもスポーツ用義肢の製作という専門的な分野で、世界に通じる会社となるように、高い目標を見据えて努力を続けていきたいです。

市内には、ものづくり技術の高い中小企業が多くあると感じています。そういった企業がこれからも代々、その技術を次世代に継承していき、魅力あるものづくりが行われているまちとして、上尾市にはますます発展して欲しいと思っています。



株式会社名取製作所
代表取締役社長
なとり ひでゆき
名取 秀幸さん

あげおイベント歳時記

— 四季折々の魅力を訪ねて —



春 SPRING

3月 上尾 さくらまつり



上尾丸山公園と文化センターで開催。市内には他にも多くの桜の名所がある。

4月 畔吉の万作踊り



農民の娯楽芸として発達した民俗芸能。諏訪神社の春の例祭で奉納される。

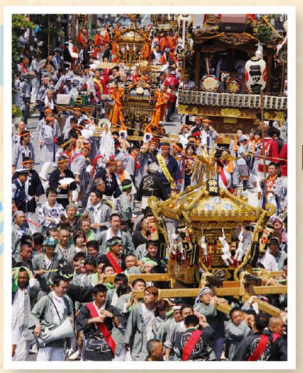
夏 SUMMER

6月 あげお駅からハイキング



J R上尾駅から荒川沿いの牧場へウォーキングで自然散策。

7月 上尾 夏まつり



神輿渡御や山車・引き太鼓などが盛大に行われる夏の一大イベント。



平方祇園祭のどろいんきょ行事 (平方のどろいんきょ)

隠居神輿と呼ばれる白木造りの神輿を若衆たちが担ぎまわり、庭などで転がし、泥だらけになりながら激しくもみ合う勇壮な祭り。

8月 あげお花火大会



荒川河川敷で約1万発が打ち上がる花火大会。

秋 FALL

10月 上尾市民体育祭



上尾運動公園陸上競技場で行われ、幅広い年齢層の人たちがスポーツを楽しむ。

11月 あげお産業祭



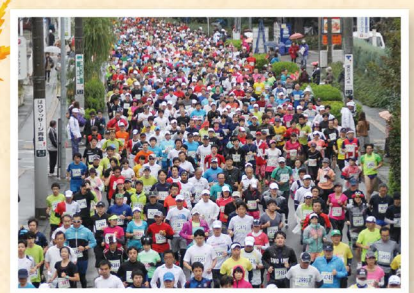
商・農・工の各種展示や即売、ステージイベントなどが行われる産業の祭り。



市民音楽祭

合唱祭、邦楽祭(2月)、吹奏楽・器楽祭(2月)に総勢約50団体が参加する音楽の祭典。

上尾シティマラソン



市内外から毎年約8千人が参加。

冬 WINTER

11月~ あげおイルミネーション



上尾の冬の風物詩。市民の手作りイルミネーションも飾られるのが特徴。

1月 藤波の餅つき踊り



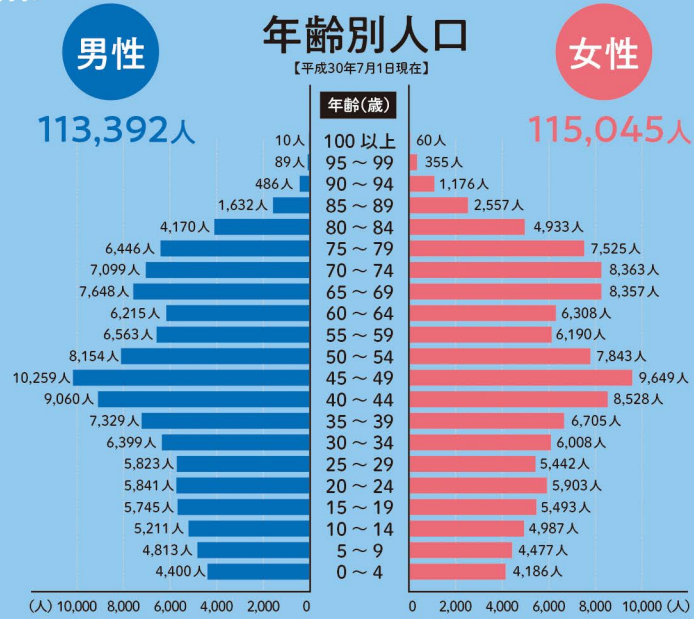
江戸時代後期からの伝統的な民俗芸能。餅をつきながら踊る餅つきと、餅つきの所作をして踊る曲つきがある。

2月 上尾市民駅伝競走大会



小学生から大人まで、各部門に分かれて健脚を競い、たすきを繋ぐ。

上尾市データファイル



人口総数 **228,437人**
世帯数総数 **100,464世帯**
【平成30年7月1日現在】

人口・世帯数の推移

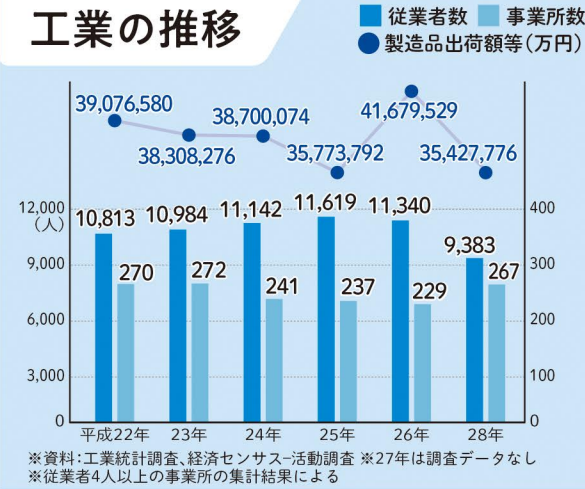
■ 世帯数(戸)
● 人口(人)
【各年10月1日、平成30年は7月1日現在】
※平成5年から外国人を含む



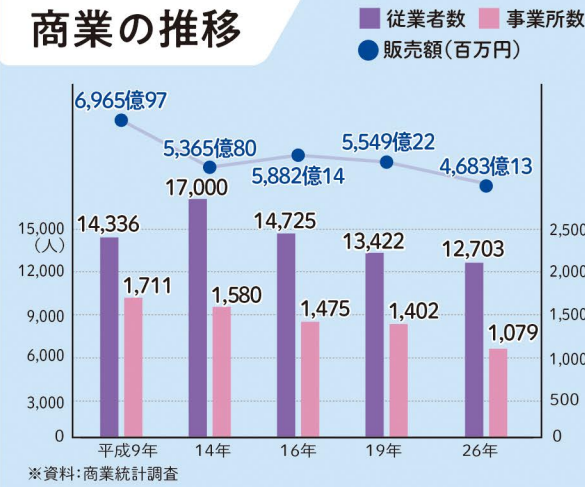
数字で見る上尾市での生活

転入 1日に 26.1人 転出 1日に 24.0人 <small>(平成29.1~12月平均)</small>	出生 1日に 4.2人 死亡 1日に 5.3人 <small>(平成29.1~12月平均)</small>	結婚 1日に 2.4組 <small>※上尾市への届出件数です。</small> <small>(平成29.1~12月平均)</small>	世帯人口 1世帯当たり 2.3人 <small>(平成29.10.1現在)</small>
JR上尾駅 41,747人 <small>増玉新都市交通 原市駅</small> 1,312人	JR北上尾駅 15,495人 <small>増玉新都市交通 沼南駅</small> 1,944人	教員(市立だけ) <small>(平成30.5.1現在)</small> 小学校 児童 22.6人 に1人 中学校 生徒 18.3人 に1人	消防職員 <small>(平成30.4.1現在)</small> 市民 878.41人 に1人

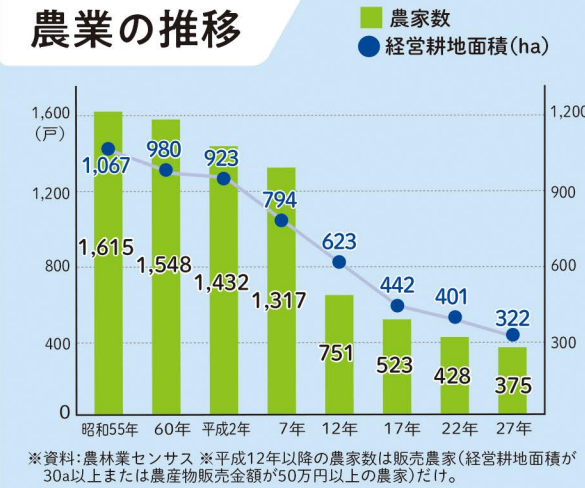
工業の推移



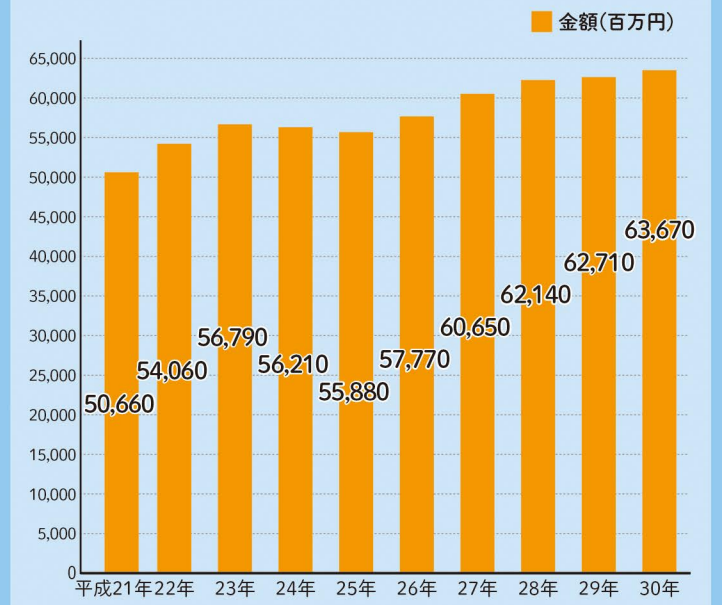
商業の推移



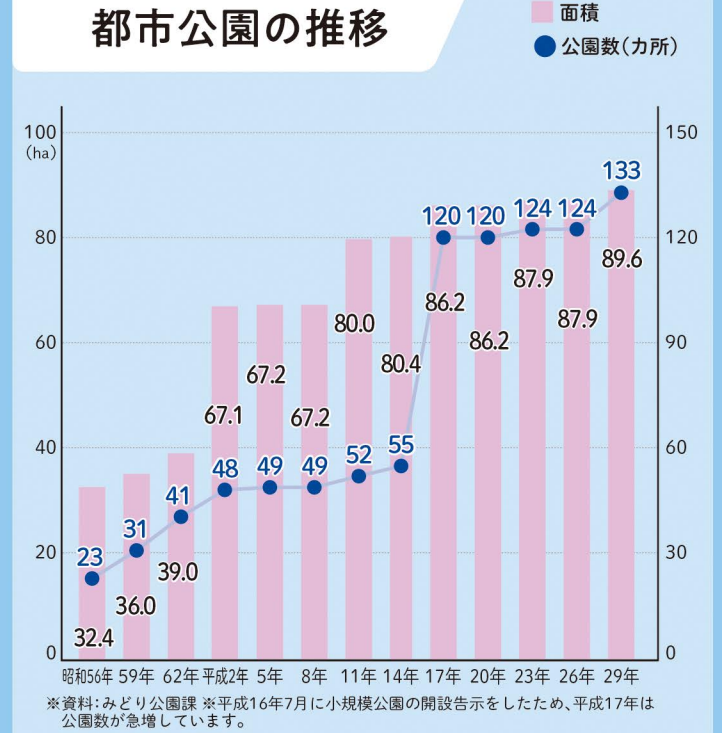
農業の推移



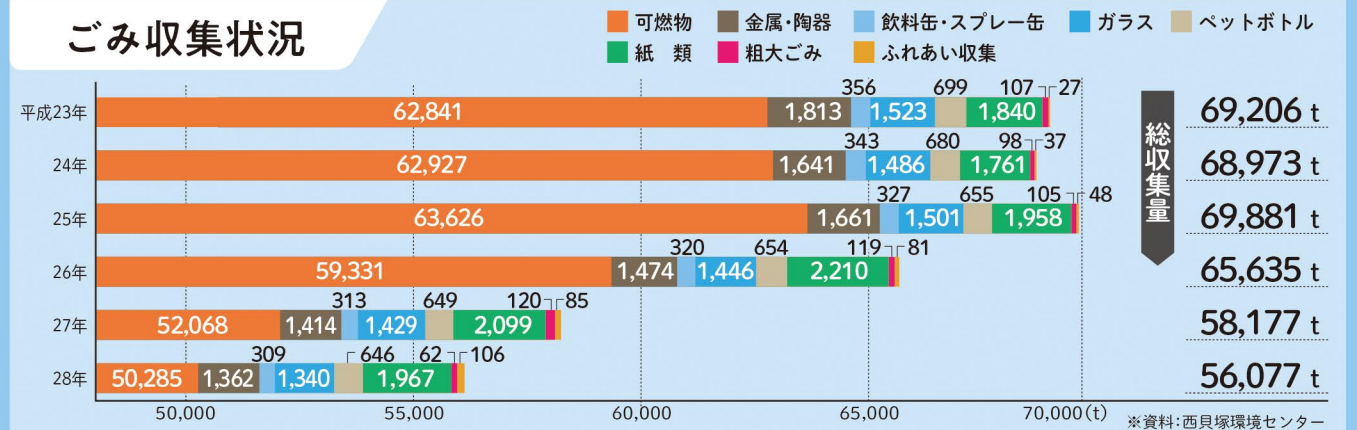
一般会計当初予算規模の推移



都市公園の推移



ごみ収集状況



議会 行政



議長/道下 文男 副議長/町田 皇介

上尾市議会は、市民によって選ばれた定数30名の議員で構成されています。市議会は、条例や予算などを審議する他、市政に市民の意見を反映させたり、市の仕事を監視したりする役割があります。

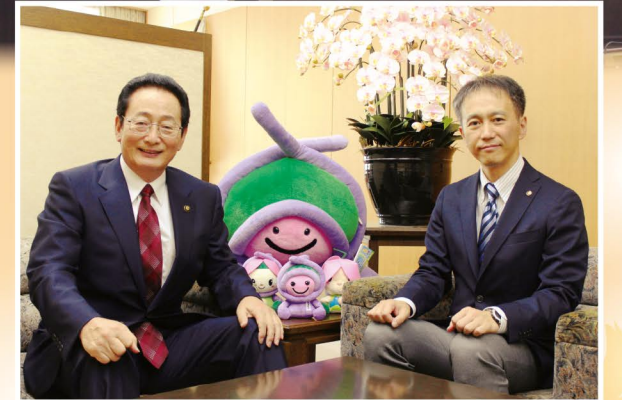
総務、文教経済、都市整備消防、健康福祉の4つの常任委員会での審議や定例議会などを通して、市のまちづくりの方向性を話し合い、市民生活の向上に努めています。

上尾市議会議員名簿 (任期 2019年12月31日まで)

1 尾花 瑛 仁 新政クラブ	11 戸野部 直乃 公明党	21 長 沢 純 公明党
2 新道 龍 一 新政クラブ	12 前 島 る り 公明党	22 道 下 文 男 公明党
3 田 中 一 崇 新政クラブ	13 浦 和 三 郎 上尾政策フォーラム	23 町 田 皇 介 上尾政策フォーラム
4 海老原 直矢 上尾政策フォーラム	14 井 上 茂 上尾政策フォーラム	24 池 野 耕 司 上尾政策フォーラム
5 新藤 孝 子 日本共産党	15 戸 口 佐 一 日本共産党	25 池 田 達 生 日本共産党
6 平田 通 子 日本共産党	16 秋 山 も え 日本共産党	26 糟 谷 珠 紀 日本共産党
7 斎藤 哲 雄 新政クラブ	17 大 室 尚 新政クラブ	27 小 林 守 利 新政クラブ
8 小川 明 仁 新政クラブ	18 新 井 金 作 新政クラブ	28 橋 北 富 雄 公明党
9 星野 良 行 新政クラブ	19 渡 辺 綱 一 新政クラブ	29 深 山 孝 無会派
10 欠員	20 嶋 田 一 孝 新政クラブ	30 野 本 順 一 無会派

平成30年10月1日現在 (欠員1名、10番)

上尾市組織図 (平成30年4月1日現在)



市長/島山 稔 副市長/松澤 純一

昭和

- 33年 7月 ● 市制施行し、上尾市が誕生(県下19番目)
- 37年 5月 ● 国道17号バイパス(大宮～鴻巣)が開通
- 41年 7月 ● 市章、市旗、市歌を制定
- 11月 ● 市庁舎が完成(旧庁舎)
- 44年 6月 ● 上尾駅のりばの橋上駅舎が完成
- 45年 3月 ● 人口10万人を突破
- 46年 12月 ● 福祉会館(現 文化センター)が開館
- 51年 5月 ● 「スポーツ都市」を宣言
- 9月 ● 人口15万人を突破
- 53年 5月 ● 上尾丸山公園が開園
- 7月 ● 市の木「かし」、市の花「つつじ」、市民の木「あおき」を制定
- 55年 5月 ● 市民体育館が開館
- 10月 ● 西貝塚環境センターが完成
- 56年 5月 ● 保健センター(現 西保健センター)が開所
- 6月 ● 図書館(現 本館)が開館
- 58年 5月 ● コミュニティセンターが開館
- 12月 ● 埼玉新都市交通(ニューシャトル)が開業
- 60年 8月 ● 「非核平和都市」を宣言
- 62年 12月 ● イコス上尾が開館
- 63年 4月 ● 平塚公園が開園
- 5月 ● 総合福祉センターが開所
- 7月 ● 市民憲章を制定
- 11月 ● 第1回上尾シティマラソンを開催
- 12月 ● JR北上尾駅が開業



昭和33年7月
市制施行
祝賀パレード



昭和44年6月
上尾駅の
橋上駅舎が完成



昭和58年12月
埼玉新都市交通
(ニューシャトル)
が開業



昭和63年12月
JR北上尾駅が
開業

上尾市の発展 60年の歩み

平成10年12月
市内循環バス
「ぐるっとくん」
運行開始



平成11年11月
自然学習館が
開館



平成25年3月
JR上尾駅東口
ペDESTリアン
デッキが完成



平成28年10月
原市保育所・
原市支所が開所



- 新市庁舎が完成(現 庁舎)
- 乳幼児相談センターが開所
- 人口20万人を突破
- 「人権尊重都市」を宣言
- 上平公園が開園
- 市内循環バス「ぐるっとくん」運行開始
- イメージマークの愛称が公募により「アッピー」に決定
- 自然学習館が開館
- 児童館「アッピーランド」が開館
- 健康プラザわくわくランドが開館
- 子ども憲章を制定
- 上尾伊奈斎場つつじ苑が開所
- 中国浙江省杭州市と友好都市協定を締結
- 児童館「こどもの城」が開館
- 上尾道路の新大宮バイパス宮前ICから県道上尾環状線までの4.2km区間が開通
- JR上尾駅東口ペDESTリアンデッキが完成(完成記念式典を実施)
- 福島県本宮市と友好都市協定を締結
- 東保健センターが開所
- オーストラリア・ロッキャーバレー市と友好都市協定を締結
- 上尾市パスポートセンターを開設
- 「キラリ☆あげおPR大使」制度を創設
- 上尾道路の県道上尾環状線から県道川越栗橋線までの4.7km区間が開通
- 原市保育所・原市支所が開所
- 子育て世代包括支援センター(あげお版ネウボラ)を設置

- 3年 11月
- 4年 5月
- 6月
- 7年 10月
- 10年 5月
- 12月
- 11年 2月
- 11月
- 12年 5月
- 13年 11月
- 15年 10月
- 11月
- 16年 3月
- 18年 10月
- 22年 3月
- 25年 3月
- 7月
- 7月
- 26年 7月
- 10月
- 27年 10月
- 28年 4月
- 10月
- 30年 4月

平成

上尾市市制施行

60周年

記念事業

昭和33年7月15日の市制施行から60年。記念式典をはじめ、さまざまな記念事業が行われ、多くの笑顔が見られました。次の60年も、笑顔いっぱい輝く上尾市に。



10/6

上尾市市制施行60周年記念式典



文化センター大ホールを会場に式典が開かれ、市政の発展をはじめ、各方面で功労のあった皆さんが表彰されました。



6/30 松竹大歌舞伎

～中村橋之助改め八代目中村芝 歌
中村国 生改め四代目中村橋之助
中村宗 生改め三代目中村福之助の襲名披露公演～



襲名披露口上と、『人情噺文七元結』『棒しばり』が上演され、間近で見る歌舞伎に多くの人が魅了されました。



8/18 スティールパンライブ



ドラム缶でできた音階打楽器「スティールパン」のバンドによる迫力のライブが行われました。上尾市出身の小針彩菜さんも出演し、大いに盛り上がりました。

9/9 消防フェア



消防の仕事の理解を深め火災予防の意識を啓発するため、さまざまな展示や体験が行われました。参加した子どもたちは消防士の気分を味わいました。

9/16 NHK BSプレミアム 「みんなDEどーもくん!」公開録画



人気番組「みんなDEどーもくん!」の公開録画が行われ、会場いっぱいの親子が歌ったり踊ったりして楽しいひと時を過ごしました。



市章

(昭和41年7月1日制定)

上尾の「ア」の頭文字を鋭く描いて
進展の象徴とし、円形は円満、
団結を表現したものです。



市の木 かし

(昭和53年7月15日制定)

上尾に古くから見られる樹木です。
防風林や防火林として、また材質が硬いことから
農具や大工道具などの材料としても使われるなど、
昔からわたしたちの生活に深くかかわりのある樹木です。



市の花 つつじ

(昭和53年7月15日制定)

かつて市内には山つつじが群生し、至る所で見ることができました。
毎年5月ごろに上尾丸山公園などで、さまざまな種類の花を
美しく咲かせています。
家庭園芸としても人気が高く、広く愛されている花の一つです。



市民の木 あおき

(昭和53年7月15日制定)

大きく成長し力強い、市の木「かし」に対して、身近な緑として
わたしたちになじみ深く、どこにでも植えることができる
「あおき」が市民の木です。
環境の変化にも強く、冬には美しくやさしい赤い実を付けます。



上尾市市制施行60周年記念 2018 上尾市勢要覧

- 発行日 平成30年11月
- 発行 上尾市 〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1
TEL 048-775-5111 FAX 048-775-9819
- 企画・編集 市長政策室広報広聴課
- 印刷 株式会社 横田印刷